

「子どものからだのおかしさ」 研究からみえる子どもたちの今！

病気ではないのに、なんだか様子のおかしいこども・・・
増えていませんか？

コロナ禍を経て、生活習慣の乱れやコミュニケーションの問題など、子どもの「からだと心」への人々の注目が一層高まっています。日本体育大学子どものからだ研究所では、子どもの「からだと心」に関する“実感”からその“実態”を明らかにする研究活動に従事しています。また、「からだと心」に関する課題の解決に有効な“実践”の創造にも努めています。本セミナーでは、それらの研究データが語る「子どもたちの今！」を子ども・子育て支援に携わる皆さんと一緒に学びます。

定員

30名

(先着順)

野井 真吾 (のいしんご)

教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どもの“からだ”にこだわった研究を続けている。具体的には、子どものからだ、心、生活が「どこかおかしい」「ちょっと気になる」という保育・教育現場の先生方、あるいは子育て中のお母さん・お父さんの“実感”を頼りに、子どもの“からだ”にこだわって“事実”を明らかにし、その“実体”を追求する研究活動に努めている。主な著書に『デジタル社会と子どもたち』（かがわ出版）『花ひらけ子ども時代』（かがわ出版）『子どもたち5000人に聞いた！学校で大切なこと』（大修館書店）『子どもの“からだと心”クライシス』（かがわ出版）

- 日本体育大学体育学部 教授
- 子どものからだ研究所 所長
- 子どものからだと心・連絡会議 議長



対象	子ども・子育て支援に携わる方 関心のある方
会場	エディオンピースウィング広島 会議室（広島市中区基町15-2-1）
受講料	2,000円

7/11 土

10:30 - 15:30

主催 公益財団法人ひろしまこども夢財団



広島市中区基町10-52 広島県庁内
TEL/082-212-1007（平日 9:00～16:00）

こちらから



お申し込みは